ボーリング柱状図

調査名　仮称千葉市立大椎第三小学校新築地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No 1	調査位置	千葉市緑区大椎町1061番地の1（仮換地2工区118街区）					北緯	35°31′
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課			調査期間	平成 6年 9月13日～ 6年 9月16日			東経	140°16′
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=77.575m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	28.30m								

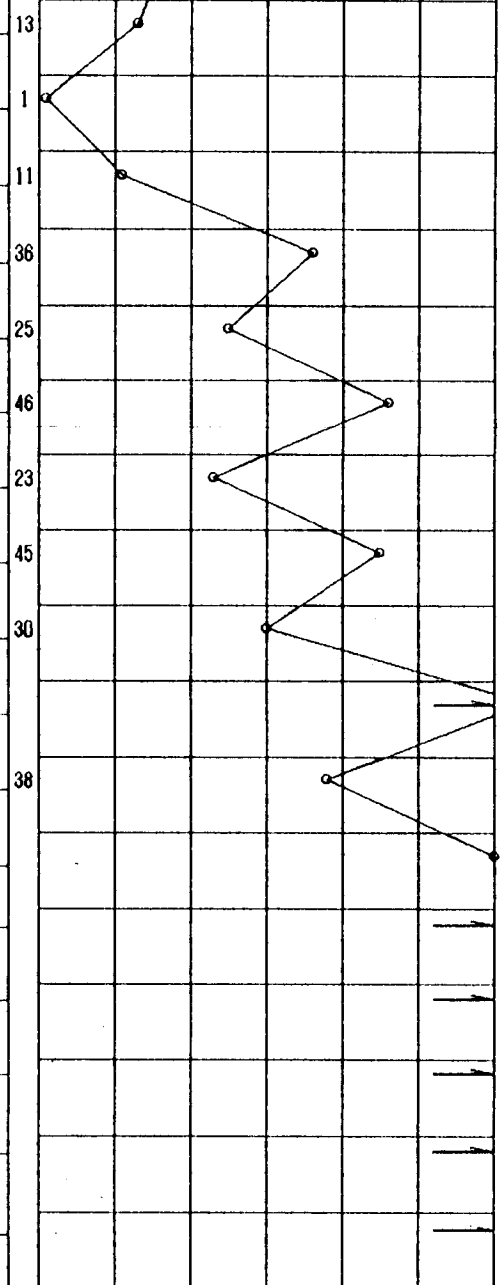
試錐機	KR-100	ハンマー落下用具	コーンプーリー
エンジン	ヤンマーNS10	ポンプ	カノー

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	75.67	1.90	1.90		盛土（ローム）	茶褐灰		軟	層全体にやや粘土化しており黒ボク及び凝灰質粘土不規則に混入する 含水中位で粘性大位 所々不規則にガラ微量混入
2	72.07	3.60	5.50		盛土（細砂）	暗黄灰～暗緑灰	中位～緩		層上部含水低くガラ混入する 2.00～4.00m付近粒子細かく均一で不規則にローム混じる 3.00m付近所々酸化し褐色を呈する 4.00m付近乳灰色の凝灰質粘土挟みローム及び黒ボク不規則に混入する 4.30m以深色調変化し暗緑灰色を呈する 層下部粘土分多く混入し所々腐植物混じる
6	64.77	7.30	12.80		盛土（粘土混り細砂）	暗黄灰	中位		層上部含水やや高く固結状を呈する 7.00m付近含水中位で固結している 8.00m付近含水高く粘土分優勢で固結しており酸化部分あり 9.00m付近砂粒子細かく均一で所々乳灰色の凝灰質粘土混入する 10.00m付近含水非常に高く雲母片中量混入する 11.00m付近含水中位で所々粘土混入し固結部分あり 層下部固結状の粘土主体で不規則に細砂挟む
13	63.27	1.50	14.30		盛土（砂質シルト）	暗灰		極軟～中位	層上部含水非常に高く色調やや明るく砂分優勢である 13.30m以深色調やや暗くなりシルト分優勢となる 層下部含水高く砂粒子均一で所々草根混入する
15	59.27	4.00	18.30		粘土質細砂	黄褐灰～暗褐灰	密		層上部含水中位で固結状を呈する 16.00m付近含水高く砂粒子粗く酸化部分あり 17.00m付近含水非常に高く細砂主体となり所々粘土分混じる 層下部含水中位となり砂粒子不均一で粘土部分固結している
19	57.77	1.50	19.80		細砂	黄褐灰	中位～密		層全体に含水高く粒子粗く不均一である 層上部所々粘土塊混じる 層下部所々不規則に粘土混入し小レキ微量混じる
20	56.67	1.10	20.90		粘土・細砂互層	黄褐灰	中位		層全体に含水中位で雲母片微量混入する 所々微細砂挟む 粘土部分固結状を呈する
21	55.77	0.90	21.80		有機質土	暗灰～黒灰		固結	20.90～21.20mまで暗灰色のシルト質微細砂挟む 21.20m以深黒灰色の有機質土となり固結している 含水低く草根微量混じる
22	54.17	1.60	23.40		硬質シルト	暗青灰～暗灰		固結	層全体に含水中位で非常に硬い 22.50m付近より少量の細砂混じる 22.70m以深粒子均一な細砂及びシルト質微細砂互層状に挟む
24	49.27	4.90	28.30		細砂	暗黄灰～暗褐灰	極密		層全体に含水高く層上部シルト及び粘土微量混入する 24.00m付近より色調変化し暗褐灰色を呈する 粒子不均一で所々粘土及び中砂微量混入する 25.00m付近所々粘土質細砂混入しやや固結状を呈する 所々中砂混入し粗砂微量混じる 26.00m付近粘土及び中砂微量混入する 27.00m付近粒子やや均一となり所々小レキ点在する 層下部含水非常に高くなり粗中砂主体となり小レキ不規則に混じる

孔内水位(m)／測定月日：9/16 8.90 ▽

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	2	4/30	4
2.15	11	11	13	35/30	35
3.15	9	10	10	29/30	29
4.15	1	2	3	6/30	6
5.15	1	2	2	5/30	5
6.15	3	4	6	13/30	13
7.15	10	10	12	32/30	32
8.15	6	4	4	14/30	14
9.15	5	6	6	17/30	17
10.15	6	7	8	21/30	21
11.15	6	6	5	17/30	17
12.15	4	5	4	13/30	13
13.15	1/30			1/30	1
14.15	1	4	6	11/30	11
15.15	9	10	17	36/30	36
16.15	7	8	10	25/30	25
17.15	7	17	22	46/30	46
18.15	7	8	8	23/30	23
19.15	10	15	20	45/30	45
20.15	7	10	13	30/30	30
21.15	10	20	30/9	60/29	
22.15	10	13	15	38/30	38
23.15	13	15	32	60/30	
24.15	60			60/10	
25.15	60/7			60/7	
26.15	60/6			60/6	
27.15	60/8			60/8	
28.15	38	22/5		60/15	



深度 (m)	試験名および結果
5.75	LLT
6.25	

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）

掘進月日
9/13
9/14
9/16

ボーリング柱状図

調査名　仮称千葉市立大椎第三小学校新築地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No 2	調査位置	千葉市緑区大椎町1061番地の1（仮換地2工区 18街区）			北緯	35°31′
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課			調査期間	平成 6年 9月16日～ 6年 9月19日	東経	140°16′
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=77.555m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	35.25m					試錐機	KR-100	ハンマー落下用具	コーンブーリー
						エンジン	ヤンマーNS10	ポンプ	カノー

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m)/測定月日
1	76.05	1.50	1.50		盛土（黒ボク）	暗茶褐		硬	層上部50cm粘土混じり細砂主体 0.50m以深含水中位で全体に固結しており粘土及び細砂不規則に混入する	
2									層上部含水中位で所々固結した黒ボク挟む	
3									3.10～3.40mまで所々黒ボク化したローム挟む 含水中位で草根混入	
4									4.00m付近含水やや高くなり粘土分優勢となり細砂少量混入する	
5					盛土（粘土質細砂）	黄褐灰	中位		5.00m含水低く所々固結粘土挟む	
6									6.00m付近含水やや高く凝灰質粘土不規則に混入する	
7									7.20～7.30m乳灰色の凝灰質粘土挟む 7.30～8.00m雲母片中量混入し所々酸化し褐色を呈する	
8									8.00～10.00m所々固結粘土挟み凝灰質粘土不規則に混入する 9.00m以深徐々に含水高くなる	9/19 8.90
9										
10									10.00m以深含水非常に高く所々粘土分優勢である	
11									10.00m付近より粘性やや強く所々酸化部分あり褐色を呈する	
12	65.55	10.50	12.00		盛土（砂混りシルト）	暗緑灰		軟	層全体に含水及び粘性高く試料の表面茶褐色に変色している 層上部雲母片混入し草根多量に混じる	
13										
14									13.50～14.30m木片及びガラ混入	
15	62.26	3.30	15.30						14.50m付近凝灰質粘土所々不規則に混入する 層下部所々酸化し褐色を呈する	
16					細砂	暗緑灰～暗褐灰	密		層全体に粒子細かく均一で含水非常に高い 層上部～16.50mまで暗緑灰色を呈し比較的締りが良い	
17									16.50m以深色調変化し暗褐灰色を呈する	
18									17.00m付近所々粘土分少量含む 層下部所々粘土及び砂鉄分微量混入し全体にやや褐色を呈する	
19	58.46	3.80	19.10		砂質粘土	暗褐灰		極硬	層全体に含水高く粘性中位で砂粒子不均一 層上部凝灰質粘土優勢で所々酸化し褐色を呈する 層下部所々凝灰質粘土挟み砂質部分酸化し褐色を呈する	
20										
21	56.76	1.70	20.80		有機質土	黒灰		固結	層全体に含水低く固結状を呈し微量の砂分混じる 層上部不規則にシルト含む所あり	
22	56.05	0.70	21.50		硬質シルト	暗青灰		固結	層上部含水低くやや固結しており所々細砂混じる 層下部含水中位で細砂混入し粘性中位である	
23	55.16	0.90	22.40						層全体に含水高い 層上部粒子細かく均一で粘土分少量混入する	
24									24.00m付近より粘土分減少し中砂の混入多く粒子不均一	
25										

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量 (cm)	N値
1.15	5	5	5	15/30	15
2.15	3	4	5	12/30	12
3.15	1	2	3	6/30	6
4.15	7	8	9	24	24
5.15	6	9	14	29/30	29
6.15	6	7	9	22/30	22
7.15	2	4	6	12/30	12
8.15	5	6	7	18/30	18
9.15	6	7	9	22/30	22
10.15	7	8	9	24/30	24
11.15	1	1	2	4/30	4
12.15	2	1	1	4/30	4
13.15	1	1	1	3/30	3
14.15	7	8	4	19/30	19
15.15		3	6	10/30	10
16.15	6	12	15	35/30	35
17.15	15	16	18	49/30	49
18.15	16	15	20	45/30	45
19.15		8	8	22/30	22
20.15	8	10	12	30/30	30
21.15	10	10	12	32/30	32
22.15	9	10	12	31/30	31
23.15	20	25	14	59/30	59
23.45	60			60/10	
24.15					
24.25	60/7			60/7	
25.15					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（ ）

掘進月日

9/13

9/17

26					細砂	暗褐灰	極密		25.00~26.00m粘土分微量混じり所々粗砂及び小レキ混入する 26.00m付近より粒子やや粗い細砂主体となり雲母片多量混入する	25.22	7			7				
										26.15	60/8			60/8				
										26.23								
27									26.80~27.30mまで逸水激しく非常に緩い状態である 粒子粗く小レキ点在する	27.15	4	4	2	33/30	33			
										27.45								
28									28.00m付近より粗中砂主体で小レキ点在し粒子非常に不均一となる	28.15	60/8			60/8				
										28.23								
29									29.00m付近粘土混入し固結した部分あり	29.15	7	12	17	36/30	36			
									29.50m付近粗中砂主体で粘土分微量混入する	29.45								
30									層下部細砂主体となり中砂少量混入し粘土分微量混じる	30.15	23	37/9		60/19				
										30.34								
31	46.46	8.70	31.10		細砂	暗緑灰~淡褐灰~淡灰	極密		層上部~31.70mまで暗緑灰色を呈する 粒子均一で所々粗中砂混入 31.70~33.00mまで色調変化し淡褐灰色を呈する 中砂及び雲母片少量混入 33.00m以深色調変化し淡灰色となる 33.00m付近含水非常に高い 34.00m付近粒子均一で中砂少量混入する 層下部粒子均一で不規則に粘土分混じる所あり 層全体に含水高く非常に良く締まっている	31.15	14	30	18	60/30				
										31.45								
32										32.15	20	28	14/2	60/22				
										32.37								
33										33.15	28	32/9		60/19				
										33.34								
34										34.15	25	30	5/1	60/21				
										34.38								
35	42.30	4.15	35.25							35.15	60			60/10				9/19
										35.25								

ボーリング柱状図

調査名　仮称千葉市立大椎第三小学校新築地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No 3	調査位置	千葉市緑区大椎町1061番地の1（仮換地2工区118街区）					北緯	35°31′
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課			調査期間	平成 6年 9月 9日～ 6年 9月12日			東経	140°16′
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H= 77.610m	角度	180° 上 / 下 0°	方向	北 0° / 西 270° / 東 90° / 南 180°	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	29.33m								

試験名					
試験機	KR－100	ハンマー落下用具	コーンブーリー		
エンジン	ヤンマーNS10	ポンプ	カノー		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対硬度	記事
1	75.71	1.90	1.90		盛土（ローム）	暗茶褐		硬	層全体に粘土化しておりやや硬く含水中位 所々不規則に草根及び凝灰質粘土混じる
2 3	74.01	1.70	3.60		盛土（細砂）	暗黄灰	中位～緩		層上部～2.90mまで含水低く粒子均一な細砂からなる 2.90m以深含水高く有機質シルト多く混入し草根微量混じる
4	73.51	0.50	4.10		粘土質細砂	暗黄灰			層全体に粘土塊を混じ非常に硬い
5 6 7 8 9	68.61	4.90	9.00		細砂	暗黄灰	中位		層上部～5.00m付近まで粘土塊混じる 5.00～7.30mまで砂粒子均一で所々粘土分含む 7.30～8.10m暗黄褐色の粘土混じり細砂挟む 所々粗砂及び凝灰質粘土少量混じる 8.00m以深含水中位となり所々不規則に粗砂微量混入
10 11	65.91	2.70	11.70		細砂	淡黄灰	中位		層上部～11.00m付近まで粒子均一で含水中位 雲母片不規則に少量混入し所々粘土分含む所あり 11.00m以深含水高く雲母片微量混入 粒子細かく均一である
12 13	63.91	2.00	13.70		粘土混り細砂	黄褐灰	中位		11.90m付近湧水激しい 層上部やや固結している 層全体に砂粒子均一で雲母片少量混入する 所々粘土分多く混じり塊状を呈する
14 15 16	60.71	3.20	16.90		砂質粘土	暗黄灰～黄褐灰		極硬	層全体に含水中位で固結状を呈する 所々細砂多く混入する 15.30m以深色調変化し黄褐灰色を呈する 層下部所々暗黄灰色の固結粘土塊混じる
17 18 19 20	57.51	3.20	20.10		細砂	暗褐灰	密～極密		層全体に含水中位で所々不規則に粘土塊少量混入する 17.00m付近粒子細かく均一で雲母片微量混入 18.00m付近色調やや暗くなり所々粘土シーム状に挟む 19.00m付近より色調暗く粒子やや粗くなり小レキ微量点在する 層下部含水やや高く粗中砂多く混入する
20	56.71	0.80	20.90		細砂	暗灰	中位		層全体に含水高く粗中砂多く混入する 所々シルト挟む
21	55.81	0.90	21.80		細砂	暗灰	密		21.10～21.20m固結シルト挟む 層全体に粒子細かく均一で所々浮石多量混入
22	55.01	0.80	22.60		有機質土	黒灰		固結	層全体に非常に硬く固結状を呈する 所々微量の砂分含む所あり
23	53.81	1.20	23.80		硬質シルト	暗青灰		固結	層全体に腐植物、有機物少量混入し固結状を呈する 所々不規則に細砂混じる
24						暗			層上部含水中位で粒子細かく均一で所々酸化し褐色を呈する 層上部～26.00m付近まで所々

孔内水位(m)／測定月日：9/12 7.30

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	3	3	9/30	9
2.15	6	6	8	20/30	20
3.15	2	1	1	4/30	4
4.15	20	19	21	60/30	
5.15	6	7	7	20/30	20
6.15	5	7	9	21/30	21
7.15	7	10	7	24/30	24
8.15	5	7	10	22/30	22
9.15	7	8	9	24/30	24
10.15	7	10	12	29/30	29
11.15	7	8	10	25/30	25
12.15	5	6	9	20/30	20
13.15	6	6	7	19/30	19
14.15	5	5	7	17/30	17
15.15	6	8	12	26/30	26
16.15	11	20	29/7	60/27	
17.15	13	15	17	45/30	45
18.15	25	35/8		60/18	
19.15	14	14	19	47/30	47
20.15	8	8	7	23/30	23
21.15	13	16	18	47/30	47
22.15	15	20	25/7	60/27	
23.15	9	13	15	37/30	37
24.15	28	32/6		60/16	
24.31	33	27		60	

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
5.75	LLT
6.25	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：9/9

25					細砂	黄灰～暗褐灰	極密		層上部～26.00m付近まで所々やや固結した粘土挟む 25.50m付近より含水高く色調変化し暗褐灰色を呈し粗中砂多く混入する	25.15 25.29	33	27/4		60/14																		
26										26.15 26.23	60/8			60/8																				
27									27.00m付近粒子不均一で小レキ微量混入する	27.15 27.21	60/6			60/6																		
28									層全体に非常に締りがよい	28.15 28.20	60/5			60/5																		
29	49.11 48.28	4.70 0.83	28.50 29.33		粘土混り中砂	暗褐灰	極密		層上部粗中砂主体で小レキ混じる 29.10mより10cm含水低く固結状の粘土挟み以下砂粒子細かく均一となる	29.15 29.33	30	30/8		60/18																		9/12

ボーリング柱状図

調査名 仮称千葉市立大椎第三小学校新築地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No 4	調査位置	千葉市緑区大椎町1061番地の1（仮換地2工区118街区）			北緯	35°31′
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課			調査期間	平成 6年 9月 8日～ 6年 9月10日	東経	140°16′
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H= 77.410m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	28.45m								

試験機	KR－100	ハンマー落下用具	コーンプーリー
エンジン	ヤンマーNS10	ポンプ	カノー

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)/測定月日
1	75.51	1.90	1.90		盛土（ローム）	暗茶褐	緩		所々不規則に凝灰質粘土多く混入しやや黒ボク化した部分あり 草根微量混入	
2	74.11	1.40	3.30		盛土（微細砂）	暗黄灰	中位		含水低く粒子均一で非常に細かい粒子からなる 層全体に雲母片少量混入 2.90m以深固結した砂質ローム挟む 層上部砂粒子細かく均一で所々粘土塊混じる部分あり	
5					細砂	暗黄灰～暗褐灰	中位～密		4.00～5.00m粒子均一で粘土質細砂不規則に混入する 6.00m付近まで含水低い 6.00m以深含水中位となり粒子やや不均一となる 6.00m付近より色調変化し暗褐灰色を呈する 6.60～6.80m粘土混入する 7.00m付近粘土分微量混じり粒子やや均一となる 7.50m付近小レキ点在する 8.00～9.00m粒子やや不均一となる 9.00m以深粒子均一となり所々酸化し褐色を呈する	9/9 8.90
9	67.81	6.30	9.60							
10					粘土質細砂	黄褐灰	中位		層全体に雲母片微量混入 層上部粘土塊混入し所々酸化部分あり 11.00～12.00m含水やや高く粘土分の混入多くなる 12.00m以深含水中位となり所々粘土分の混入多い部分あり	
13	64.51	3.30	12.90							
14					砂質粘土	黄褐灰		極硬	層全体に含水高く雲母片微量混入 層全体に粘土分優勢な部分あり固結状を呈する 所々不規則に細砂挟む	9/8
15	62.11	2.40	15.30							
16					細砂	暗褐灰	密		層全体に含水中位で粒子均一な細砂主体 層上部所々酸化部分あり褐色を呈する 17.00～18.10m粘土質細砂混じり所々粘土分優勢な所あり 18.10m付近より砂粒子やや粗くなり所々不規則に粘土分微量混入する 19.00m以深粒子均一で細かく粘土塊微量混入	
19	57.81	4.30	19.60							
20	56.61	1.20	20.80		細砂	暗灰	中位		層全体に含水中位で粒子均一である 所々不規則に粘土挟む	
21	55.81	0.80	21.60		有機質土	黒灰		固結	層全体に非常に硬く固結状を呈する 所々細砂微量混じる	
22	54.51	1.30	22.90		硬質シルト	暗青灰		極硬	層全体に含水低く固結状を呈する 所々腐植物、有機物不規則に微量混入する 22.70m以深細砂混じる	
24									層上部色調やや明るく22.90～23.10m付近粘土挟む 25.00m付近まで粒子均一で細かく粘土分微量混じる所あり	
25						暗				

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量 (cm)	N値
1.15	2	2	1	5/30	5
1.45～2.15	5	6	7	18/30	18
2.45～3.15	17	19	18	54/30	54
3.45～				/30	24
4.45～5.15	10	15	15	40/30	40
5.45～6.15	11	12	9	32/30	32
6.45～7.15	11	12	13	36/30	36
7.45～8.15	11	11	13	35/30	35
8.45～9.15	10	11	12	33/30	33
9.45～10.15	5	6	9	20/30	20
10.45～11.15	6	7	8	21/30	21
11.45～12.15	7	10	11	28/30	28
12.45～13.15	5	6	7	18/30	18
13.45～14.15	5	6	5	16/30	16
14.45～15.15	5	7	9	21/30	21
15.45～16.15	10	11	14	35/30	35
16.45～17.15	5	6	8	19/30	19
17.45～18.15	15	13	9	37/30	37
18.45～19.15	10	11	12	33/30	33
19.45～20.15	6	7	10	23/30	23
20.45～21.15	15	16	16	47/30	47
21.45～22.15	9	9	10	28/30	28
22.45～23.15	12	22	26/6	60/26	
23.41～24.15	45	15/3		60/13	
24.28～25.15	60/9			60/9	

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日

25					細砂	暗褐灰	極密		25.00m付近まで粒子均一で細かく粘土分微量混じる所あり 25.00m以深色調暗くなり粒子粗く含水高くなる		25.15	60/9			60/9																		
26									26.00m付近粗中砂微量混入		25.24 26.15	60			60/10																	
27									26.90~27.10m粘土挟む 27.10~27.30m粒子細かく淡灰色を呈する		26.25 27.15	40	20/4		60/14																9/9
28	49.31	5.20	28.10						層下部粒子粗く鉄化し褐色を呈する		27.29 28.15	19	23	18	60/30																9/10
	48.96	0.35	28.45		中砂	淡灰	極密		層全体に含水中位で粒子不均一 28.30m付近より粘土分混じる		28.45																						

ボーリング柱状図

調査名 仮称千葉市立大椎第三小学校新築地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No 5	調査位置	千葉市緑区大椎町1061番地の1（仮換地2工区118街区）						北緯	35°31′
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課			調査期間	平成 6年 9月19日～ 6年 9月21日				東経	140°16′
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者	
孔口標高	H=77.435m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KR-100	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	28.45m								エンジン	ヤンマーNS10	ポンプ	カノー

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1					盛土（ローム）	茶褐～黒灰～茶褐		極硬～硬	0.60～1.50m粒子均一な黒灰色の黒ボク挟む 層下部含水高く粘土化し粘性強い		1.15	10	8	8	26/30	26							
2	74.63	2.80	2.80						2.00m以深草根及び砕石微量混入		1.45 2.15	3	4	4	11/30	11							
3									層上部凝固化した砂質粘土主体で粒子不均一な細砂混じる		2.45 3.15	8	11	14	33/30	33							9/19
4									褐色を呈す		3.45				30	23							
5					盛土（粘土混り細砂）	暗黄灰	中位		5.00m付近含水高く所々粘土分多い所あり		4.45 5.15	5	6	6	17/30	17							
6									6.00～8.00m付近まで粒子均一な細砂主体となり雲母片中量混入する		5.45 6.15	5	6	7	18/30	18	5.75 6.25	LLT					
7									凝灰質粘土微量混入		6.45 7.15	5	5	6	16/30	16							
8									8.00m付近粒子均一な細砂主体で所々凝灰質粘土塊挟む		7.45 8.15	6	6	7	19/30	19							
9									9.00m付近ローム及び凝灰質粘土不規則に挟む	9/21 9.50	8.45 9.15	6	6	6	18/30	18							
10	66.73	7.90	10.70						10.00m以深凝灰質粘土多く混入し所々酸化部分あり		9.45 10.15	3	3	4	10/30	10							
11	65.73	1.00	11.70		盛土（シルト質細砂）	暗灰	中位		層全体に草根及び凝灰質粘土混入し色調の変化激しい		10.45 11.15	2	2	3	7/30	7							
12					盛土（ローム）	暗茶褐～茶褐		軟	層上部やや粘土化し黒ボク及び木片微量混入		11.45 12.15	2	3	3	8/30	8							
13									13.00m付近粘土化したローム主体でローム及び黒ボク混入する 木片、草根混入		12.45 13.15	2	3	2	7/30	7							
14									14.00m付近ローム及び粘土不規則に混じり砕石微量混入		13.45 14.15	3	3	3	9/30	9							
15									15.00m付近細砂微量混入し草根及び砕石微量混じる		14.45 15.15	2	2	3	7/30	7							
16									16.00m付近シルト質細砂挟む 含水高く草根混入		15.45 16.15	1	2	3	6/30	6							
17									17.00m付近木片及びガラ混入 17.30m以深徐々に含水高くなる		16.45 17.15	1	1	2	4/30	4							
18											17.45 18.15	1	2	2	5/30	5							
19									層下部やや粘土化し細砂中量混入する 所々不規則に砕石混入		18.45 19.15	2	2	2	6/30	6							
20	57.43	8.30	20.00		シルト質微細砂	暗緑灰～暗灰	中位		層上部30cm暗緑灰色のシルト混じり細砂からなる 20.30m以深暗灰色を呈し所々細砂挟む		19.45 20.15	5	9	14	28/30	28							
21	56.53 56.03	0.90 0.50	20.90 21.40		有機質土	黒灰		固結	層全体に非常に硬く固結状を呈す 所々砂質部分あり		20.45 21.15	12	15	18	45/30	45							9/20
22	54.84	1.20	22.60		硬質シルト	暗青灰		固結	層全体に含水低く固結状を呈す 22.00m付近粒子均一な細砂挟む		21.45 22.15	12	18	19	49/30	49							
23					細	暗褐	極		層上部固結粘土混入 23.00m付近中砂多く混入し所々小レキ微量混じる 含水高く粒子不均一		22.45 23.15	60/4			60/4								
24									24.00m付近粒子やや均一となる		23.19 24.15	60/8			60/8								
25									25.00m付近中砂混入し粗砂及		24.23 25.15	60			60/10								

25					細砂	褐灰	極密		25.00m付近中砂混入し粗砂及び小レキ微量混じり粘土塊点在する		25.15	60			60/10																				
											25.25																								
26									26.00m付近粒子やや均一となり粗砂少量点在する		26.15	36	24/5		60/15																				
									層下部粒子細かくなり不規則に凝灰質粘土塊混じる		26.30																								
27	50.03	4.80	27.40						所々酸化した固結部分あり		27.15	20	17	23/4	60/24																				
					中砂	暗褐灰	極密		層全体に含水非常に高く粗砂及び凝灰質粘土不規則に混入する		27.39																								
28	49.23	0.80	28.20								28.15	14	15	22	51/30	51																			9/21
	48.98	0.25	28.45		細砂	暗褐灰	極密		層全体に粒子不均一な細砂からなり酸化し褐色を呈す 所々固結した凝灰質粘土塊混入する		28.45																								

ボーリング柱状図

調査名　仮称千葉市立大椎第三小学校新築地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

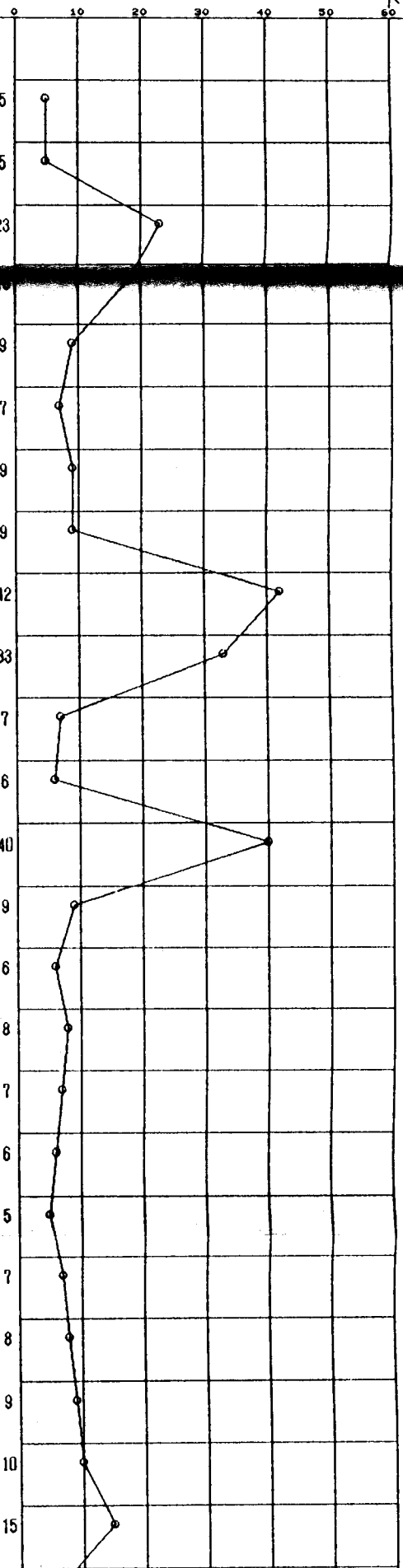
シートNo.

ボーリング名	No 6	調査位置	千葉市緑区大椎町1061番地の1（仮換地2工区118街区）											北緯	35°31′
発注機関	千葉市道路局道路部営繕課									調査期間	平成 6年 9月14日～ 6年 9月16日			東経	140°16′
調査業者名	主任技師									現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=77.327m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	0° 90° 東 南	地盤勾配	水平 0° 90°	使用機種		試錐機	KR-100		ハンマー落下用具	コーンブーリー	
総掘進長	32.33m									エンジン	ヤンマーNS10		ポンプ	カノー	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)/測定月日
1					盛土（ローム）	茶褐		中位	層上部～.50m付近まで粘土化し所々礫状に砕石混じる	
2									1.90m付近コンクリート片少量混じる 層全体に含水高く乳黄灰色の凝灰質粘土不規則に混入する	
3	74.53	2.80	2.80		盛土（粘土混り細砂）	暗黄灰	中位～緩		層上部～4.00m付近まで所々乳黄灰色の凝灰質粘土混入する	
4										
5									5.00～7.00m付近含水高く凝灰質粘土およびローム不規則に混入	9/16 5.40
6										
7									7.00m付近ローム主体となる	
8									8.00m以深所々凝灰質粘土互層状に挟む	
9	68.43	6.10	8.90		盛土（細砂）	暗黄灰	密		層上部粒子均一で粘土分微量混入 層全体に雲母片混入 層下部粒子やや不均一となり所々砂質粘土混入	
10										
11	66.33	2.10	11.00						11.00m付近所々凝灰質粘土微量混じる	
12									12.00m付近凝灰質粘土挟む	
13					盛土（ローム）	茶褐		中位	13.00m付近暗茶褐色の粘土質細砂主体となり含水非常に高い 所々砕石混入	
14									14.00m付近所々赤ボラ粒及び草根混入する	
15										
16									16.00m以深不規則に黒ボク少量混入する	
17										
18									18.00m付近含水非常に高くやや粘土化しガラスガ・ゴミ混入	
19	58.03	8.30	19.30						層下部所々凝灰質粘土混入	
20					盛土（細砂）	暗黄灰	緩		層上部暗褐灰色を呈し粘土塊微量混入 層全体に含水高く雲母片混入	
21	56.33	1.70	21.00							
22					砂混りシルト	黒灰～暗灰		硬	層上部～22.80m付近まで有機質であり草根微量混入	
23									層全体に雲母片微量混入	
24	53.03	3.30	24.30						23.00～24.00mにかけ所々φ5～10mmの木片混入 23.80m以深粘性強くなる	
25					シルト	暗			層全体に砂粒子不均一となる	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量 (cm)	N値
1.15	2	1	2	5/30	5
2.15	1	2	2	5/30	5
3.15	5	8	10	23/30	23
4.15	5	6	7	18/30	18
5.15	4	3	2	9/30	9
6.15	2	3	2	7/30	7
7.15	2	3	4	9/30	9
8.15	3	3	3	9/30	9
9.15	13	14	15	42/30	42
10.15	11	11	11	33/30	33
11.15	1	3	3	7/30	7
12.15	1	2	3	6/30	6
13.15	19	11	10	40/30	40
14.15	2	3	4	9/30	9
15.15	1	2	3	6/30	6
16.15	3	3	2	8/30	8
17.15	2	2	3	7/30	7
18.15	1	2	3	6/30	6
19.15	2	1	2	5/30	5
20.15	2	3	2	7/30	7
21.15	2	2	4	8/30	8
22.15	3	3	3	9/30	9
23.15	3	3	4	10/30	10
24.15	3	4	8	15/30	15
25.15	1	1	4	6/30	6



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						9/14

25																																			
26	50.73	2.30	26.60		下混り細砂	暗灰	緩		25.30m付近にて小レキ中量混じる 26.00m以深シルト分減少する		25.45 26.15	1	5	6	12/30	6 12																		
27					細砂	暗灰～暗黄灰	極密		層上部所々酸化し褐色を呈す 28.00～29.00mにかけ酸化し褐色を呈す 28.70m付近より色調変化し暗黄灰色を呈す 層上部より30.00m付近まで粒子不均一 30.00m以深含水非常に高い 31.00m付近にて粗中砂多く混入する		26.45 27.15	7	18	25	50/30	50																		
28											27.45 28.15	60/9			60/9																			
29											28.24 29.15	22	38		60/20																			
30											29.35 30.15	27	33/9		60/19																			
31											30.34 31.15	42	18/4		60/14																			
32	45.00	5.73	32.33								31.29 32.15	25	35/8		60/18																			9/16
											32.33																							